

**一般財団法人京都ボーイスカウト振興会**  
**平成26年度（平成26年4月1日から平成27年3月31日）**  
**事業計画（案）**

**1. はじめに**

平成26年度は、本振興会が主体的に実施する事業として次年度京都連盟100周年を迎えるにあたって、京都連盟とともにボーイスカウト運動が地域社会の教育力として認知される諸施策に着実に取り組みたい。本年3月9日に京都連盟の協力を得て開催する京都スカウト活動報告会を定例化するとともに、指導者養成のためのプログラム企画運営事業において、地域の有識者の方を講師として招聘し、講演会等を予定している。講演会では、ボーイスカウト関係者のみならず、一般の参加者も対象とし、青少年育成の指導者としての素養を涵養することを目的とした内容としたい。

当該事業の他、(1)ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業、(2)青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業、(3)国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動のための共催事業、(4)ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業のそれぞれの事業ごとの計画を策定し、実行することによって、京都府下のボーイスカウト運動を振興し、もって、青少年の品性の向上および国際友愛の精神の育成を図っていききたい。

**2. 事業計画の内容**

**(1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業**

**(ア) 助成の対象**

京都府下において、ボーイスカウト運動の趣旨を理解し、組織的にボーイスカウト運動を行う団体

**(ア) 助成の趣旨・用途**

ボーイスカウト運動にかかる講習・実修・研修・キャンプに要する経費、世界ジャンボリー・日本ジャンボリー及びベンチャースカウト大会へのスカウト派遣に要する経費、その他ボーイスカウト運動に欠くことができない重要な行事のために必要となる経費

**(イ) 事業予算**

事業費として、1,400千円を見込む。

日本ボーイスカウト京都連盟（以下、「京都連盟」という。）の26年度事業費予算のうち、進歩費、国際費、安全費、環境費、コミッショナー費、イベント費等に必要となる事業費に対する助成として1,300千円、ローバースカウト京都ユースネットワークに対する助成として100千円を予定している。

(ウ) 助成対象者からの助成申請及び実績報告

助成対象者からは書面による助成申請（事業の収支予算及び事業の実施概要）を受け、書面による実績結果（事業の収支決算及び事業の実施状況）を受ける。  
なお、助成申請及び実績報告は、助成対象者の組織的な機関決定を経たものであることを条件とする。

**(2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業**

(ア) 体験活動の所在地

広河原野営場：京都市左京区広河原尾花町 27 番地  
（当法人所有：山林 22, 559 平方メートル、原野 521 平方メートル）

(イ) 体験活動の運営主体

京都連盟

(ウ) 体験活動に参加が予定されている対象者

青少年の育成を目的とした組織団体に無償提供する。

(エ) 事業予算

事業費として、181 千円（整備委託費 100 千円、減価償却費 81 千円）を見込む。

(オ) 広河原野営場近隣における舎営施設土地建物を取得または賃借を受ける予定である。現在、土地等の取得等に向け、所有者との交渉を継続している。

**(3) 青少年指導者養成のためのプログラム企画運営事業**

(ア) 趣旨

青少年の育成・指導する者としての素養を涵養するために、企業人、教育者等の有識者を講師に迎え、広く青少年の育成・指導する立場にある一般の参加者に対して、講演会を実施するものです。

(イ) 講演者

講師の招聘は検討中

(ウ) 受講者の募集方法

京都連盟及び本振興会からのボーイスカウト指導者、スカウトの保護者等への案内、ホームページを通じた募集

(エ) 開催場所

キャンパスプラザ京都（京都駅前）を予定

(オ) 開催日

候補日を検討中

(カ) 講演会予算

事業費として、200 千円（講演料 150 千円、会場使用料 50 千円）を見込む。

**(4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のための共催事業**

(ア) 国際交流・国際貢献活動支援

ボーイスカウトを対象に海外キャンプへの派遣、海外スカウトのホームステイ受入、国際協カプロジェクトの派遣実施等を予定している。

(イ) 社会に役立つ事業活動支援

一般青少年を対象にした青少年元気サポート事業（アウトドアチャレンジ）  
全国都道府県対抗女子駅伝競走大会、全国車いす駅伝競走大会、視覚障害者マラソン京都大会の沿道整理奉仕

(ウ) 環境まち美化活動支援

「みどりの募金」活動、京都市「まち美化運動」に参加

**(5) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業**

(ア) 地域の不特定多数の青少年に対するボーイスカウト運動の普及宣伝を図る事業として、ホームページを通じて、スカウトの日（ゴミ拾い等の奉仕活動を実施する日）等に地域の青少年の参加を促す。

(イ) ボーイスカウト・指導者等のボーイスカウト関係者、維持会員、並びに不特定多数の皆様に対して、ホームページを通じて、当法人の事業計画等・京都連盟の事業計画等を適時に適切な範囲でディスクローズし、健全な運営を行う。

(ウ) ボーイスカウト運動の振興を図るために維持会員及び潜在的な維持会員に対して、ホームページを通じて、会費の協力を依頼する。

(エ) 事業予算

事業費として、550 千円（普及宣伝費 50 千円、ホームページ運営改革費 400 千円、通信運搬費 50 千円、印刷製本費 50 千円）を見込む。

**3.財源の確保**

維持会員数については、世界スカウト財団名誉総裁カール 16 世グスタグ・スウェーデン国王の入洛による「第 66 回ワールド ベーデン-パウエル フェロシップ晩餐会」の開催等によって、ご参会された京都の経済界や有識者の方々にボーイスカウト運動への理解や関心を高めて頂けたと考えます。

平成 26 年度において、このような京都の方々に維持会員として加わってもらうための会員増強活動に尽力し、広く財政的援助をして頂けるよう努力するとともに、当法人及び京都連盟関係者の方々にも振興会維持会員の勧誘活動に一層のご協力をお願いする次第である。

以上